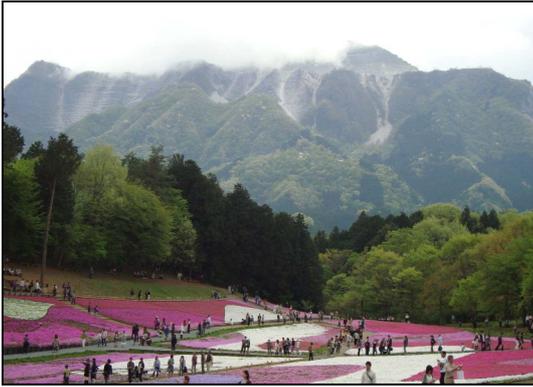


第十九回フオト旬会優秀作品(24年5月14日)

<自由題>



セメントを
採り尽くしてや
芝桜 安藤 晃二

阿弥陀堂
菜花咲くまで
一休み 大月 和彦



腐っても
翼折れても
鯛は鯛 上山裕次

自由題寸評：

安藤さん：秩父のセメントを採掘した跡地に芝桜を植えて観光地に
しています。人々の動きを良く捉えています。

大月さん：雪解け前の阿弥陀堂。大気は温暖で水蒸気で靄っています。
菜の花が咲くまでの間、季節の進行がとまったかの
感があります。

上山さん：一時期世界の空を自社機が我が物顔に飛び回っていた
名門企業も舞台から姿を消しましたが・・・。

< 句 付 け >

4月のお題写真



春浅しはるか彼方に神宿る	矢澤 正二
安曇野にこだまするよな早春賦	池田 隆
アルプスの白さを遥か春爛漫	安藤 晃二
白馬や今ぞ始まるジャム造り	安藤 晃二

< 寸 評 >

今月のお題写真は美しい白馬山麓の春景色です。(大越さん出題)

矢澤さん：確かに白雪を頂いた山並みに神が宿る気持ち
判りますね。ご本人は信心深いとは思えないけど。

池田さん：安曇野に「早春賦」という歌の碑があるのだそうです。
♪春は名のみ風の寒さや♪ まさにその通りの風
景ですね。

安藤さん：アルプスの白さを遥かに見て山麓は春爛漫であるとい
う写真に負けないような綺麗な言葉が並んでいます。

安藤さん：咲いている花木はいずれも果物がなる木だそうです。
美味しいジャムができそうです。

今月は「神宿る」、「早春賦」、「ジャム造り」のようなユニークな
言葉が用いられて良かったと思います。今回から入会した安藤さ
んの健闘が光ります。